

平成30年度 八代市通学路安全推進会議 通学路危険箇所対策予定一覧表

No.	学校名	危険箇所名 (路線名・箇所名・住所等)	通学路の状況	対策		
				内容	主体	状況
1	東陽小学校	東陽支所からの坂道	児童の通学路になっているが、民家がなく、車両や人通りが少ない。両脇が竹藪等で、外灯はあるものの薄暗い。	看板「防犯カメラ作動中」及びのぼり旗「防犯パトロール実施中」を2本設置する。	八代市 市民活動政策課	対応済み
2	龍峯小学校	岡町コンビニ近くの国道3号線沿いの歩道	歩道の道幅が狭く、危険である。	路側帯に、視覚的に歩行帯を認識出来るような対策が出来ないか検討する。	国土交通省 八代維持出張所	検討中
3		竜西東西12号線(東西アクセス道路)	東西アクセス道路は、既に同プログラムにより事業実施中の市道「新牟田西牟田線」と県道「新八代停車場線」に接続する国道3号までの1,350mのルート。国道3号においても、興善寺町から川田町東にかけて歩道整備を実施中。幹線道路の整備に伴い、今後、宅地化が進み交通量の増加が見込まれるため、自転車・歩行者の通行の危険性が高まる。	道路の整備にあわせて、自転車・歩行者用道路の整備を行う。	八代市 土木課	対応中
4	八千把小学校	商店前横断歩道	商店前横断歩道は、交通量が多い。歩行者にとっては車が見えにくい。運転者にとっても視界が悪くなっている。横断歩道の位置が変更となり、2段階での横断となった。	横断が1度で済むよう、横断先の道路の幅やカラー舗装等を検討する。	八代市 土木課	検討中
5		歯科医院前交差点	歯科医院前の市道は、抜け道となっており、交通量が多い。交差点は、赤と黄色の点滅信号である。車は我先にと急ぐことが多い。黄色点滅では歩行者を優先しないことが多い。また、赤点滅では一旦停止でも、完全に止まらない車が見られるため、大変危険である。	交通安全日等を活用し、交番、交通係で指導を実施する。 古閑中町古閑上町線については、測量を行い、地元住民に説明を行いながら整備計画を進める。	八代警察署 八代市 土木課	対応中 対応中

平成30年度 八代市通学路安全推進会議 通学路危険箇所対策予定一覧表

No.	学校名	危険箇所名 (路線名・箇所名・住所等)	通学路の状況	対策		
				内容	主体	状況
6	泉第八小学校	東宮～栗野方面	がけ・土砂崩れ、道路崩落の危険性が大きい。平成17年9月の台風14号通過時には、道が崩落し、車両通行止めが1ヶ月ほど続いた。現在も、梅雨の時期には、道路崩壊の危険性を含んでいる。	県道部分については、現在土砂崩れ防止の工事を行っている。随時対応を進める。	県南広域本部 土木部	対応中
				安全に通行できるよう、崩土や落石については随時対応する。	八代市 泉建設地域事務所	対応中
7	植柳小学校	小学校から県道42号線へつながる四つ角	当該の四つ角については、本校小学生の通学路であり、停止線を始めとする道路の標示が消えかけている。通学・通勤時の車両の交通量は多く、車両や児童に対しても注意喚起の必要性から停止線等の確実な道路表示をお願いしたい。	一時停止線の補修を検討する。	八代警察署	検討中
				車が徐行するよう、「子ども多し注意」「危険 左右確認」の標示を設置する。	八代市 市民活動政策課	対応済み
8	第三中学校	植柳橋南側のいずかし歩道橋付近	植柳橋への坂道で下りの自転車はスピードが付きやすい。せまい道で離合などしにくいほか、歩道橋や細い路地とも面しており、車や歩行者との接触も考えられる。	自転車で歩道を通行する際は、学生だけでなく、一般の方も通行することを常に考慮し、進行方向に他の自転車が見えた際は、すぐに下り、自転車を押して通行するよう、学校で指導をする。	学校	対応中
9	植柳小学校	植柳下町の勝明寺付近の三叉路	当該横断歩道については、以前から、交通量の多い、信号機のない変則的な横断歩道のある三叉路で通学路の危険箇所として児童に注意喚起している場所である。特に朝の通学・通勤時間帯の車両の交通量は多く、その中で、児童の道路横断が行われている。	当該の横断歩道を渡る際は、顔だけを少し出して、車の往来がないかを十分確認するように指導する。	学校	対応中
				車が徐行するよう、「子ども多し注意」「危険 左右確認」「通学路注意」の標示を設置する。	八代市 市民活動政策課	対応済み
10	植柳小学校	植柳上町スーパー近く市道の四つ角	当該箇所は、地域の生活道路に接する本校小学生の通学路である。以前から近在の高校の自転車通学生との出会い頭の接触事故等が懸念されており、特に朝の時間帯の自転車の通行量は多く、当該箇所にて交通指導を実施している。	当該交差点を渡る際、児童が一旦停止し、左右確認できるよう、停止指導線を引くなど、対応を検討する。	八代市 土木課	検討中

平成30年度 八代市通学路安全推進会議 通学路危険箇所対策予定一覧表

No.	学校名	危険箇所名 (路線名・箇所名・住所等)	通学路の状況	対策		
				内容	主体	状況
11	植柳小学校	植柳郵便局前の横断歩道	当該箇所にある横断歩道については、本校小学生の通学路であり、以前から交通量の多い、信号機のない横断歩道で通学路の危険箇所として児童に注意喚起している場所である。通学・通勤時の車両の交通量は多く、その中で、本校児童、近在の高校生の通学時の道路横断が行われている。	当該横断歩道を渡る際は、黄色の「横断中」手旗を使用し、左右確認を十分に行うように指導する。	学校	対応中
12	金剛小学校	金剛小学校前の市道	昨年度、学校前の一部だけ拡張されたが、スピードを上げる車が多く危険である。また、離合の際、歩道（縁石なし）に乗り上げる車もあり危険である。	車同士の離合の際、歩道に乗り上げることを防ぐため、ラバーポール等の設置を検討する。また、ドライバーに対し、道路の幅が狭くなっていることを視覚的に認識させるため、外側線の延長を検討する。	八代市土木課	検討中
13		県道42号線と揚町方向からの通学路の交差点	見通しはよいがスピードを上げる車が多く、横断する児童が一旦停止して確認している傍らをスピードを緩めることなく通過する車がとても多い。歩行者用信号のない交差点であるため危険である。	道路を渡る際は、手を挙げて、車が完全に停まったことを確認してから横断するように指導する。また、横断時に黄色の「横断中」手旗を活用できるように、市民活動政策課に申請する。	学校	対応済み
14	鏡中学校	一般市道氷川高校前線	通勤や通学の時間帯は、鏡町中心部を縦断する路線であることから通行量が特に多い。しかし、当該箇所は、県立松橋支援学校と住宅街の間に位置しているにも関わらず、歩道がなく、道路幅員も3.5mから5.0m程度と狭く、車両と歩行者の通行に支障をきたしている状況である。	道路拡幅改良並びに歩道整備を進める。	八代市鏡建設地域事務所	対応中
15	鏡中学校	鏡中学校前の道路と文政小学校前の道路との交差点	朝は交通量が多く、夜は暗く見通しが悪くなるため大変危険である。昨年度は、本校生徒も夜に交通事故を起こしている。	ドライバーに対する注意喚起として、「危険左右確認」「子ども多し注意」「通学路注意」の標示を設置する。	八代市市民活動政策課	対応済み
				当該箇所への交通指導員の配置を依頼する。	八代市市民活動政策課	対応済み
				横断する際は左右確認を確実にし、安全確認をしたうえで渡るよう指導する。	学校	対応中

平成30年度 八代市通学路安全推進会議 通学路危険箇所対策予定一覧表

No.	学校名	危険箇所名 (路線名・箇所名・住所等)	通学路の状況	対策		
				内容	主体	状況
16	日奈久小学校	日奈久市街の主要道	日奈久小中学生が登下校に利用する道路で交通量も多いが、車道と歩道を分ける白線が消えていて危険度が増している。	継続的な対応を検討する。	八代市 土木課	検討中
17		日奈久大坪川沿い	大坪川はガードレールがなく児童が川に落ちる危険性がある。	歩行者の転落防止のため、柵の設置等を検討する。	八代市 土木課	検討中
18	宮地小学校	県道氷川八代線	対象道路は宮地校区の主要道路であり、道路沿いには宮地コミュニティセンター、宮地郵便局や八代神社（妙見宮）があり、本校の児童が登校する時間帯に車の交通量がとても多い。	今後の地域や学校の動向により、関係機関と連携のうえ、対策を検討する。	県南広域本部 土木部	検討中